

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ASTEP長岡京		
○保護者評価実施期間	2026年 1月28日 ～ 2026年 2月 13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日 ～ 2026年 2月 6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や経験、資格の有無を問わず意見を言い合える事業所の風土	<p>日々のミーティングやケース検討の場では、必ず複数の視点から子どもの姿を共有し、「この子にとって何が最善か」という問いを軸に対話を行っています。発言の機会が偏らないよう進行を工夫し、若手支援者の気づきも積極的に取り上げることで、多角的な見立てを促しています。</p> <p>また、意見交換の際には「まず受け止める」「否定から入らない」という共通ルールを明確にし、安心して発言できる心理的安全性を大切にしています。ケース振り返りやヒヤリハットの共有も定期的に行い、小さな違和感を言語化する習慣を根づかせています。</p>	<p>「質の向上」と「仕組み化」の両面から強化していきたいと考えています。</p> <p>支援者会議では、「事実・解釈・仮説・次の支援」を整理する共通フォーマットを活用し、感覚的な議論に偏らない精度の高い見立てを行っていききたい。また、ファシリテーターを交代制にすることで、若手支援者の主体性や対話力も育ていきたい。</p> <p>心理的安全性のさらなる向上のために、定期的な振り返りや簡易アンケートを通して「意見を言いやすい環境か」を可視化し、改善につなげていきたい。あわせて、ヒヤリハットだけでなく好事例も共有し、「学びの共有」として前向きな学習文化をより一層定着させていきたいと考えています。</p>
2	支援者間の連携 （「誰が関わっても同じ質」を実現するための連携体制）	<p>口頭での引き継ぎだけに頼らず、すべての支援内容や気づきを記録として残し、いつでもどこでも確認できる体制を整えています。活動の様子、子どもの発言や行動の変化、保護者からの連絡事項などを時系列で蓄積することで、情報の抜けや認識のずれを防いでいます。</p> <p>また、記録は単なる事実の羅列ではなく、「その時の見立て」や「次の対応方針」まで明確に残すことを意識しています。</p> <p>日々の短時間ミーティングや定期的なケース共有の場を設け、記録だけでは伝わりにくいニュアンスや背景も補足しています。情報を“残す”だけでなく、“共有し、すり合わせる”ことを大切にするすることで、チームとして同じ方向を向いた支援を実現しています。</p>	<p>記録の質をより高める取り組みを進めていきたい。具体的には、「事実・見立て・支援意図・次の一手」を整理する共通フォーマットを導入し、誰が記録しても一定水準の情報が残る仕組みを強化していきたい。</p> <p>重要ケースについては月次で小さなレビューを行い、「支援が計画通り機能しているか」「見立てに修正が必要か」を振り返る時間を意図的に設けていきたい。記録を“残すもの”から“活用するもの”へと発展させていきます。</p> <p>さらに、保護者共有用のサマリーのようなものを定期的に作成し、家庭と同じ情報基盤を持てるようにすることで、事業所内連携と家庭連携をつなげていきたい。記録・対話・振り返りを循環させる体制を、より精度の高いチーム支援へと高めていきたいと考えています。</p>

3	多種多様な活動プログラム	<p>多様な活動を実現するために、年間・月間計画の段階で5領域を一覧化し、偏りが出ないようにバランスを確認しています。活動後には振り返りを行い、次の計画へ反映させています。</p> <p>また、同じねらいでも制作・運動・調理・外出など方法を変えて構成し、さまざまな子どもが参加しやすい入口を用意しています。長期休暇には実生活に近い体験活動も取り入れ、活動後には「好き・苦手・またやりたい」を言語化する機会を設け、自己理解につなげています。</p>	<p>活動ごとに「どの力を育てるのか」をより明確にし、個別支援計画との紐づけを強化していきたい。集団活動であっても、一人ひとりのねらいが意識される構成へと高めていきます。</p> <p>また、子ども自身の興味の変化を定期的に把握するため、簡単なアンケートや振り返りシートを活用し「今の関心」や「挑戦してみたいこと」を計画に反映していきたい。体験が一過性で終わらないよう、継続的な発展活動へつなげる仕組みも整えていきます。</p> <p>地域資源や外部講師の活用など、新しい刺激を取り入れながら体験の質を高め、子どもが自分の可能性に気づける機会をより広げていきたい。</p>
---	--------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への情報発信や働きかけが十分とは言えず、マニュアルや安全体制、各種取り組みが「実施しているが十分に伝わっていない」状態にあること	日々の支援業務に注力するあまり、情報発信や広報を“後回し業務”として扱ってしまう構造が要因と考えられる。また、情報が点在しており、保護者が「どこを見れば何が分かるのか」が明確でないことも、周知不足につながっている。	情報発信を“業務の一部”として位置づけ、年間広報計画を策定し、マニュアル・安全体制・自己評価・支援のねらい等を定期的に発信していきます。SNSをフル活用するだけでなく、リンク集や固定投稿などを活用し、アクセスしやすい動線を整備していく。
2	新たなサービスを展開する一方で既存サービスの質向上や効果の可視化が十分に整理されていない点	新規サービス導入（発達検査等）が目的化しやすく、「今ある支援の質をどう高めるか」という視点の整理が十分でない可能性がある。	新規サービス拡充と並行して、既存支援の質向上を目的とした内部評価・ケースレビュー・満足度分析を実施し、「量」ではなく「質」の改善指標を明確にしていく。発達検査などの専門的取り組みも、単独サービスではなく日々の支援改善にどう還元するかを明確化し、循環型の質向上体制を構築していく。
3	支援者同士で意見を出し合える風土はあるものの、育成が体系化されておらず、個々の経験や自主性に委ねている部分があること	日々の支援業務が優先され、育成を「時間があれば行うもの」として扱ってしまう構造が要因です。また、OJT中心で進めてきたため、到達目標や評価基準が明確でなく、成長段階が可視化されにくい点が課題	育成を“仕組み”として位置づけ、段階別の育成指標や到達目標を明確にしていきます。ケース検討や振り返りを計画的に組み込み、見立て力・記録力・対話力などの専門性を意図的に高めていく。また、や外部研修の計画的導入、スーパービジョンの活用により、個人依存ではない組織的な育成体制を構築していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ASTEP長岡京

公表日 2026年2月13日

利用児童数 2026年1月30日時点：39名

回収数 29名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93	3		4	<ul style="list-style-type: none"> ●パーティションなどを使い工夫して空間を利用されている ●部屋に物を置かず、フリースペースでの活動に納得です。 ●限られたスペースの中で、ゲームをしたり、イベントをしたり、机上で活動したりと工夫されている ●子供が大きくなるにつれて、活動場所が少し狭く感じられるようになってきました。 	以下、別紙参照
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	75	14		11	<ul style="list-style-type: none"> ●たくさんの方々の職員の方々おられてありがたいです。 ●熱心に支援活動に取り組まれており、日誌を通じてそれが伝わります。 ●うちの子は手がかかる方なので、いつも支援員さんがついてくれて、みんなと活動に参加できるように配慮してもらっていて、ありがたいです ●①②共に、活動している様子をみていないので、わかりません。 ●活動中の詳細な様子を把握しきれていないため判断しかねます。ただ、学習時間などに個別のサポートが必要な場面で、職員方の手が足りているのかどうかについては、少し気になるころではあります。 ●1日何人かの職員さんがきてはるのか分からないので。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	96			4	<ul style="list-style-type: none"> ●次の活動を写真やイラストで示してくれたり、荷物を置く場所や活動する場所、静かなスペースなど、限られたスペース中で空間を区切ってわかりやすくされていると思います ●宿題するスペースと遊ぶスペースが区切られていて良いと思う ●子どもにあった制作で作ってくださったりして助かってます。 ●送迎の際、事前におおよそのスケジュールや送りの順番を子供と保護者に共有していただけると大変助かります。 ●順番が最後になる時など、事前に心の準備ができることで子供も安心して過ごすことができます。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	97	3			<ul style="list-style-type: none"> ●いつも整理整頓されていると思います ●宿題する場所にパーソナルスペースが確保されていない。仕切り板やパーティションの設置など子供が落ち着いて課題に取り組めるよう、環境の改善していただけると大変助かります。 ●新しい建物、子どもも嬉しいと思います。 	

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93	7			<ul style="list-style-type: none"> ●各自に自立課題を用意されていて、工夫されていると思います ●集団でも個別でも特性に応じて進めてもらっています ●日々の活動を通じて子供の成長を強く感じています。特性に応じた適切な支援をいただけていると感謝しています。 ●先生によって、本人への響き方が違うように思う時もあります。 	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93	7			<ul style="list-style-type: none"> ●公表された内容を元に通常希望を出しました。当初から現在まで、そのプログラム内容に異論は無く、本当に感謝しております。 ●成功事例の共有（発表会等）に大変興味がありますが、現在のところそのような機会や案内をいただいたことがなく、どこで確認できるのかわからないです。 	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90	7		3	<ul style="list-style-type: none"> ●半年に一度のアセスメントを経て、本人の状況を元に支援方針及び目標を修正頂き、ありがとうございます。 ●個別支援計画の内容は満足してるが、書式(文字が小さく見づらい)枚数増えてもいいので、もう少し見やすくしてもらうか、データで配布してほしい ●面談で伝えた内容がしっかり目標に反映されていますが、その計画に基づく支援が実際にどうだったのか、結果のフィードバックをいただける場をより充実させていただければと思います。 	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90	3		7	<ul style="list-style-type: none"> ●面談等で説明は受けておりますが、各項目が適切に設定されているかは専門的すぎて判断できません。 	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	93			7		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90	10			<ul style="list-style-type: none"> ●日誌を見て、毎回異なるプログラムである事に感じしております。共感と感謝の限りです。 ●季節ごとのイベント、ゲームなどを感心するほど様々な活動を計画し実行されていると思います ●毎月のカレンダー制作において、見本通りの手順を守ること大切ですが、自由度が少ないためか子供が飽きている様子が見受けられます。完成後に本人のオリジナリティを発揮できる自由な時間や工程があるともっと楽しめると思います。 ●いろいろな外出、取り組みありがとうございます。 	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	35	24	17	24	<ul style="list-style-type: none"> ●ASTEP事業所間での交流は時々されているように思います ●地域の他の子どもがアステップを利用していない子を指すのであればと、いいえにしました。 ●たまに学校と児童館のイベントあり行ける時は参加しています。 ●週一だけの通所なので、そこまで実感はないです。 	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	97	3				

保 護 者 へ の 説 明 等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	97			3	●毎回じっくりと説明や議論ができる時間を設けていただけるので、私自身もその時間をとても楽しみにしています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	62	10	3	25	●これまで具体的な案内を受けたことがなく、実施状況について把握できてません。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	86	9		5	●毎回の送迎や個別療育の時に伝え合っていると思います ●現在のLINEでは過去のやり取りが流れてしまうため、成長の記録や健康状態を管理・共有しやすい専用アプリなどの導入を検討していただきたいです。振り返りがしやすい仕組み作りを希望します。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	97	3			●療育日誌をいつも丁寧に書いていただき、ありがとうございます	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90	10			●これも先生によるとありますが、ほとんどの先生はとても共感的に支援してくださっていると思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	17	27	36	●こうした活動があることを今回初めて知りました。現状では情報が十分に届いていないと感じるため、周知のタイミングや手段を工夫していただければと思います。 ●そういう機会があれば参加したいと思います。 ●すいません。中々参加できてないので、、、	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	86	10		4	●面談等で直接相談できる環境は整っており、伝えたことへの対応も早いと感じています。正式な相談窓口があるのかは把握していません。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90	7		3	●本人を通じて日々の活動状況を教えて貰ってます。 ●送迎の際に熱心に活動を説明していただける支援員さんに感謝しています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	93	7			●インスタや写真で様子がよく伝わってきます ●活動報告は毎回のフィードバックがありとてもいいと思います。 ただ、成功事例や保護者会の存在などはどこを確認すればよいかわかりにくく、見落としてしまっている情報もあります。	
非 常 時 等 の 対	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90	4		6		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80	4		16	●マニュアルを見たことがないので周知していただきたいです。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	93	4		3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	97			3		

応	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86			14	<ul style="list-style-type: none"> ●怪我をしたことがないので、わからない ●発作が起きた時のマニュアルを作成していただけると、ありがたいです。 	
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	86	14			<ul style="list-style-type: none"> ●喜んで通所しております。活き活きとしています。 ●苦手な制作などのプログラムも頑張れるよう支援してもらっています ●苦手な活動の日は、やや不安そうです。 ●先生方への安心感はあるが、お友達と上手くいかない時の事を考えると行く前に「ああ、」となる時もあります（^^;; 	
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	86	14			<ul style="list-style-type: none"> ●今日は何をするか毎回聞いてきます ●苦手な活動の日になると少し表情が暗いです。 ●楽しみにしています。 ●低学年向けの内容が多い現在のプログラムに少し物足りなさ（飽き）を感じている様子が見受けられます。 ●イベントに寄って気分が違うようですが、概ね色んなイベントを考えてくださるので、飽きる事はないと思います。 ●日によって変わる為 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	96	2		2		

自由意見	<p>●毎回楽しんで通っている様子があり、本人の事をよく見てよく理解して頂いて関わって頂いていると感じています。通所する中で成長が見られ、親として非常に嬉しく感じています。たくさん活動を提案・実施して頂きありがとうございます。これからも、よろしく願っています。</p> <p>●いつも支えてくださり、大変感謝しております。来年度も引き続き、ご指導よろしく願っています。</p> <p>●いつも送られてくる写真や動画から、子供たちのみならず、支援者の方々も一緒にイベントやゲームを楽しんでいる様子がよく伝わってきます。たくさん計画して、たくさん準備して、あとはみんなで楽しむ！！というASTEPI魂を感じます。日誌のLINEにいつからか、担当者の名前を書いてくれるようになったのが、支援者さんの顔が想像できていいなと個人的には思います</p> <p>●通い始めて3年目ですが、子供達のできるようになったことを褒めてくれたり、困ったことは一緒に考えてくれたりと、子供にも親にも寄り添ってくれるとても信頼できる事業所さんだと思います。</p> <p>●放課後デイでどんな過ごし方をしているのかな？という疑問を感じさせないぐらい、インスタ等で活動内容や支援についての情報発信されてる姿勢にすごく令和を感じます</p> <p>それが全てではないとは思いますが、閉鎖的な空間になりがちな場で、保護者からすると安心できる面もあるし、子供達への接し方や考え方が勉強になることも多いです</p> <p>●この時期はインフルエンザだったり、胃腸炎だったりと毎年アンケートを提出できなくて申し訳ありません。今年初めて提出しました。いつもありがとうございます。今後引き続きよろしくお願いします</p> <p>●楽しく通えていることが一番かと思います。家や学校ではできない経験もたくさんさせてもらって感謝しています。</p> <p>●いつも療育日誌を丁寧に書いてくださっているので、後々読み返したり助かってます。</p> <p>●今後とも、よろしく願っています。</p> <p>●一昨年に年賀状を作って家に届くってあったのを毎年あったらなって思ってます。</p> <p>●最近では低学年中心の成長に物足りなさを感じている様子が見受けられます。一方で、低学年の子たちに対してリーダーシップを発揮したり、責任感を持って接したりという報告を支援進さんからもらうことがあり良い変化も現れ成長を感じています。</p> <p>●宜しくお願いします</p> <p>●いつも温かい支援ありがとうございます！ASTEPIは親子共々、ありがたい居場所です。今後とも宜しくお願いいたします。</p> <p>●いつも子ども達が楽しめる活動のアイデアが素晴らしいと感じています。今後ともよろしくお願いします。</p> <p>●いつも温かく見守ってくださりありがとうございます！これからもどうぞよろしく願っています。</p>
------	---

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ASTEP長岡京
	2026年2月13日

2026年1月30日時点：39名

回収数：29名

		チェック項目	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none">●パーテーションなどを使い工夫して空間を利用されている●部屋に物を置かず、フリースペースでの活動に納得です。●限られたスペースの中で、ゲームをしたり、イベントをしたり、机上で活動したりと工夫されている●子供が大きくなるにつれて、活動場所が少し狭く感じられるようになってきました。	<p>パーテーションの活用やフリースペースの工夫、部屋を分けた活動設定などをご評価いただき、大変ありがたく感じております。活動内容に応じて空間を柔軟に使っている点をご理解いただけていることは、日々の環境設定の積み重ねが伝わっている証でもあります。</p> <p>一方で、お子さまの成長に伴い活動場所が手狭に感じられるようになってきたとのご指摘は重要な視点です。ASTEPでは、お子さまの身体的成長や活動量の変化に合わせて環境を見直すことを大切にしております。今後は、活動のグループ分けや時間帯の調整、家具配置の再検討などを行い、より安全で十分に身体を動かせる空間づくりを進めてまいります。また、屋外活動や広い場所を活用したプログラムも計画的に取り入れ、成長段階に応じた活動量を確保してまいります。</p> <p>限られた空間の中でも、支援者が常に環境を点検し、「安心して動ける」「落ち着いて取り組める」場を維持できるよう、継続的に工夫と改善を重ねてまいります。</p>
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	<ul style="list-style-type: none">●たくさんの職員の方々おられてありがたいです。●熱心に支援活動に取り組みされており、日誌を通じてそれが伝わります。●うちの子は手がかかる方なので、いつも支援員さんがついてくれて、みんなと活動に参加できるように配慮してもらっていて、ありがたいです●①②共に、活動している様子をみていないので、わかりません。●活動中の詳細な様子を把握しきれていないため判断しかねます。ただ、学習時間などに個別のサポートが必要な場面で、職員方の手が足りているのかどうかについては、少し気になるころではあります。●1日何人かの職員さんがきてはるのか分からないので。	<p>多くの支援者が関わっていることや、日々熱心に取り組んでいる様子を感じていただけていること、大変ありがたく受け止めております。また、お子さまに継続して支援者がつき、集団活動に参加できるよう配慮している点をご評価いただき、励みになります。</p> <p>一方で、実際の活動場面をご覧になっていないため判断が難しいことや、学習時間など個別対応が必要な場面での支援体制についてご心配があることも、もっともなご意見だと受け止めております。基準を満たした配置を行うことに加え、活動内容やその日の参加状況に応じて支援者の役割分担を調整し、個別対応が必要なお子さまに適切に手が届く体制を整えております。学習や落ち着いた支援が必要な場面では、事前に活動構成を検討し、集団と個別のバランスを意識した配置を行っています。</p> <p>今後は、1日の配置人数や役割の考え方についても分かりやすくお伝えし、安心していただけるよう努めてまいります。引き続き、安全と個別性の両立を大切にしながら、適切な支援体制を維持してまいります。</p>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none">●次の活動を写真やイラストで示してくれたり、荷物を置く場所や活動する場所、静かなスペースなど、限られたスペース中で空間を区切ってわかりやすくされていると思います●宿題するスペースと遊ぶスペースが区切られていて良いと思う●子どもにあった制作で作ってくださったりして助かっています。●送迎の際、事前におおよそのスケジュールや送りの順番を子供と保護者に共有していただけると大変助かります。順番が最後になる時など、事前に心の準備ができることで子供も安心して過ごすことができます。	<p>次の活動を写真やイラストで示している点や、荷物を置く場所・静かなスペースなどを明確に区分している点をご評価いただきありがとうございます。ASTEPでは、空間や活動の見通しが持てることが安心につながると考え、視覚的な手がかりや環境の構造化を意識して整えております。育児スペースへのご理解や、子どもに合った制作活動への評価も大変励みになります。</p> <p>また、送迎時にその日のスケジュールや活動の順番を共有することが安心につながっているとのご意見は、とても大切な視点です。活動の流れを事前に伝えることで気持ちの準備ができるよう心がけておりますが、今後もご家庭と情報を共有しながら、より見通しを持ちやすい提示方法を工夫してまいります。</p> <p>引き続き、空間の使い方や情報の伝え方を丁寧に見直しながら、「分かるから安心できる」環境づくりを支援者一同で積み重ねてまいります。</p>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none">●いつも整理整頓されていると思います●宿題する場所にパーソナルスペースが確保されていない。仕切り板やパーティションの設置など子供が落ち着いて課題に取り組めるよう、環境の改善していただけると大変助かります。●新しい建物、子どもも嬉しいと思います。	<p>いつも整理整頓されているとの言葉や、新しい建物で子どもも嬉しい様子とのご評価を大変ありがたく受け止めております。清潔で明るい環境は、子どもたちの安心感や活動への意欲に直結するため、日々の整備を継続してまいります。</p> <p>一方で、宿題をする場所にパーソナルスペースが十分に確保されていないとのご指摘は重要な課題です。集中を要する学習場面では、視覚刺激や周囲の音環境の影響を受けやすいため、パーテーションの活用方法や机配置の見直し、時間帯による空間の使い分けなどを再検討し、より落ち着いて取り組める環境づくりを進めてまいります。</p> <p>活動内容に応じて空間の目的を明確にし、子ども一人ひとりが「安心して過ごせる」「集中して取り組める」と感じられる環境を維持できるよう、引き続き改善を重ねてまいります。</p>
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none">●各自に自立課題を用意されていて、工夫されていると思います●集団でも個別でも特性に応じて進めてもらっています●日々の活動を通じて子供の成長を強く感じています。特性に応じた適切な支援をいただけていると感謝しています。●先生によって、本人への響き方が違うように思う時もあります。	<p>各自に合った課題設定がなされていることや、日々の活動を通して成長を感じていただけていることを大変嬉しく受け止めております。特性に応じた支援が行われているとのご評価は、支援者にとって何よりの励みです。</p> <p>一方で、支援者によって関わり方に違いを感じることもあるとのご意見は重要な視点です。子どもへの関わりは個性が出やすい部分ではありますが、支援の方向性や目標、対応の基本方針については共通理解を持つことが不可欠です。今後は、個別支援計画の意図や具体的な対応方法をより丁寧に共有し、支援者間での振り返りやケース検討を通して関わり方の質の統一を図ってまいります。</p> <p>一人ひとりに合わせた支援を大切にしながらも、チームとして一貫性のある関わりができるよう、引き続き連携と研鑽を重ねてまいります。</p>

適切な支援の提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<p>●公表された内容を元に通常希望を出しました。当初から現在まで、そのプログラム内容に異論は無く、本当に感謝しております。</p> <p>●成功事例の共有（発表会等）に大変興味がありますが、現在のところそのような機会や案内をいただいたことがなく、どこで確認できるのかわからないです。</p>	<p>公表している支援プログラムと実際の支援内容に乖離がないと感じていただけていること、継続して通所して下さっていることに心より感謝いたします。理念や方針が日々の実践と結びついていると受け止めていただけていることは、大変励みになります。</p> <p>また、成功事例の共有や発表会等へのご関心をお寄せいただきありがとうございます。現在、日々の療育日誌や写真等で活動の様子はお伝えしておりますが、成果や成長のプロセスをまとめて共有する機会については十分とは言えない部分もあります。今後は、発表の場や活動報告の機会を検討するとともに、どこでどのように確認できるのかを分かりやすくお知らせしてまいります。</p> <p>引き続き、掲げている支援内容と実践の一致を大切にしながら、成長の歩みをより実感していただける発信の在り方を工夫してまいります。</p>
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<p>●半年に一度のアセスメントを経て、本人の状況を元に支援方針及び目標を修正頂き、ありがとうございます。</p> <p>●個別支援計画の内容は満足してるが、書式(文字が小さく見づらい)枚数増えてもいいので、もう少し見やすくしてもらえたら、データで配布してほしい</p> <p>●面談で伝えた内容がしっかりと目標に反映されていますが、その計画に基づく支援が実際にどうだったのか、結果のフィードバックをいただける場をより充実させていただければと思います。</p>	<p>半年に一度のアセスメントを通して状況を丁寧に見直している点をご理解いただきありがとうございます。個別支援計画の内容が充実しているとのこと評価も大変励みになります。</p> <p>一方で、書式が小さく見づらいことや、データでの共有を希望されている点は重要なご意見です。計画は「分かりやすく伝わること」が前提であるため、文字の大きさやレイアウトの改善、データでの提供について検討してまいります。また、計画に基づく実践がどのように行われ、どのような変化や成果があったのかというフィードバックをより具体的にお伝えできるよう、モニタリング時の説明内容や日々の記録の共有方法を充実させてまいります。</p> <p>計画が形だけでなく、実際の支援の積み重ねと結びついていることが実感できるよう、見やすさと振り返りの質の両面から改善を重ねてまいります。</p>
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<p>●面談等で説明は受けておりますが、各項目が適切に設定されているかは専門的すぎて判断できません。</p>	<p>面談で説明は受けているものの、各項目が適切に設定されているか専門的で判断が難しいのご意見は、ごもっともな感想だと受け止めております。計画は専門性を持って作成する一方で、保護者の皆さまが内容を理解し、納得できるものでなければ意味がありません。</p> <p>本人支援・家族支援・移行支援の各項目については、日々の様子やご家庭からの情報、将来を見据えた視点を踏まえて設定しておりますが、今後は「なぜこの項目が必要なのか」「どのような根拠で設定しているのか」をより分かりやすくお伝えしてまいります。また、専門用語に偏らず、具体的な場面と結びつけて説明することで、内容の妥当性が共有できるよう工夫いたします。</p> <p>計画が“専門的で分かりにくいもの”ではなく、“一緒に考える道しるべ”となるよう、説明の在り方をより丁寧に見直してまいります。</p>
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		✖
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<p>●日誌を見て、毎回異なるプログラムである事に感心しております。共感と感謝の限りです。</p> <p>●季節ごとのイベント、ゲームなどを感心するほど様々な活動を計画し実行されていると思います</p> <p>●毎月のカレンダー制作において、見本通りの手順を守ること大切ですが、自由度が少ないためか子供が飽きている様子が見受けられます。完成後に本人のオリジナリティを発揮できる自由な時間や工程があるともっと楽しめると思います。</p> <p>●いろいろな外出、取り組みありがとうございます。</p>	<p>日誌から日々異なるプログラムであることを感じていただけていること、季節行事やゲームなど多様な活動を評価いただいていることを大変嬉しく受け止めております。外出の機会についても前向きに受け止めていただき、ありがとうございます。</p> <p>カレンダー制作において「見本通りに作ること」と「自由に表現すること」のバランスについてのご意見は、とても大切な視点です。手順を追う活動は見通しを持つ力や順序立てる力を育てる目的がありますが、一方で、子ども自身の発想や個性を発揮できる時間も同じくらい重要だと考えております。今後は、工程の中に選択肢やアレンジの幅を設けるなど、完成度だけでなく創造性や自己表現を大切にできる構成をより意識してまいります。</p> <p>活動が固定化せず、「できた」という達成感と「自分らしく表現できた」という満足感の両方につながるよう、引き続き工夫を重ねてまいります。</p>
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	<p>●ASTEP事業所間での交流は時々されているように思います</p> <p>●地域の他の子どもがアステップを利用していない子を目指すのであればと、いいえにしました。</p> <p>●たまに学校と児童館のイベントあり行ける時は参加しています。</p> <p>●週一だけの通所なので、そこまで実感はないです。</p>	<p>事業所間での交流が行われていると感じていただけていることを嬉しく受け止めております。一方で、地域の子どもが利用していない場合の交流機会が少ないことや、学校・児童館のイベント参加が中心であること、週1回の利用では実感しにくいことなど、現状についての率直なご意見も大切に受け止めております。</p> <p>地域交流は、無理に機会を増やすことよりも、子どもたちが安心して参加できる形で段階的に広げていくことが重要だと考えております。今後は、地域施設の活用や公共の場での活動機会を通して、自然な形で他児と関わる経験を積めるよう検討してまいります。また、参加した際の様子やねらいを丁寧に共有し、週1回利用の方にも実感が伝わるよう発信を工夫してまいります。</p> <p>安全面や個々の特性に配慮しながら、地域とのつながりを少しずつ広げていけるよう取り組んでまいります。</p>
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		✖
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<p>●毎回じっくりと説明や議論ができる時間を設けていただけているので、私自身もその時間をとても楽しみにしています。</p>	<p>毎回じっくりと説明や議論ができる時間を楽しみにいただけているとお言葉を、大変嬉しく受け止めております。計画を示しながら対話の時間を持つことが、ご家庭にとっても前向きな機会になっていることは何よりの励みです。</p> <p>個別支援計画は、一方的にお伝えするものではなく、保護者の皆さまと共に確認し、考えをすり合わせていくことが大切だと考えております。そのため、目標の意図や支援内容の根拠、現在の達成状況や今後の見通しについて、丁寧に共有する時間を今後も大切にしています。</p> <p>引き続き、対話を通して理解と納得を深められる場を継続し、共にお子さまの成長を支えていける関係づくりに努めてまいります。</p>

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	●これまで具体的な案内を受けたことがなく、実施状況について把握できてません。	具体的な内容を受けたことがなく、実施状況が把握できていないのご意見は、家族支援の在り方を見直すうえで大切なご指摘だと受け止めております。取り組みがあったとしても、それが十分に伝わっていなければ支援とは言えません。 現在、個別相談や面談の中で家庭での関わり方についてお伝えする機会には設けておりますが、ペアレント・トレーニングとして体系的に実施している形や、定期的な家族向け研修として明確に打ち出せていない部分もあります。今後は、家庭で実践しやすい具体的な関わり方や環境調整のポイントを整理し、ミニ講座や資料配布、保護者向けの説明会などを通して、内容と実施状況が分かる形でお知らせしてまいります。 ご家庭を支えることも大切な支援の一部であるという視点を改めて共有し、見える形で家族支援の充実に努めてまいります。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	●毎回の送迎や個別療育の時に伝え合っていると思います ●現在のLINEでは過去のやり取りが流れてしまうため、成長の記録や健康状態を管理・共有しやすい専用アプリなどの導入を検討していただきたいです。振り返りがしやすい仕組み作りを希望します。	毎日の送迎時や個別療育の際に伝え合いができていると感じていただけていることを嬉しく受け止めております。一方で、LINEでのやり取りが流れてしまい、成長記録や健康状態を振り返りにくいのご意見は非常に重要な視点です。 日々の共有はタイムリーである一方、蓄積や振り返りのしやすさという点では工夫の余地があると感じております。今後は、一定期間ごとに成長のポイントや体調面の変化をまとめた記録を整理するなど、後から見返しやすい形で情報共有を検討してまいります。また、必要に応じてデータ化や簡易レポートの形式も含め、継続的な変化が把握しやすい仕組みづくりを進めていきます。 その場限りのやり取りで終わらず、「積み重ねが見える共有」となるよう改善を重ねてまいります。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	●療育日誌をいつも丁寧に書いていただき、ありがとうございます。	療育日誌をいつも丁寧に読みいただき、ありがたいとお言葉を大変嬉しく受け止めております。日々の記録が、ご家庭での理解や安心につながっていることは、支援者にとって何よりの励みです。 療育日誌は単なる出来事の報告ではなく、その日のねらいや関わりの意図、見られた成長や次につなげたい視点をお伝えする大切な機会と考えております。今後も、面談の場とあわせて、日誌の中でも具体的な助言や家庭での関わりのヒントを盛り込みながら、継続的な子育て支援につなげてまいります。 引き続き、日々の積み重ねがご家庭の安心と見通しにつながるよう、丁寧な発信を心がけてまいります。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	●これも先生によるとありますが、ほとんどの先生はとても共感的に支援してくださっていると思います。	ほとんどの支援者が共感的に関わっていると感じていただけていることを、大変ありがたく受け止めております。一方で、「それぞれ先生による」とのご意見は、支援の質をさらに高めていくうえで重要な視点です。 関わり方には個性が表れる部分もありますが、子どもやご家族に対する受容や共感の姿勢は、事業所として大切にすべき共通の土台です。今後も支援者間での振り返りやケース共有を通して、関わりの意図や言葉かけの在り方を確認し合い、安心感のある支援が安定して提供できるよう努めてまいります。 子ども一人ひとりに寄り添う姿勢を継続しながら、チームとしての一貫性もより高めてまいります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	●こうした活動があることを今回初めて知りました。現状では情報が十分に届いていないと感じるため、周知のタイミングや手段を工夫していただければと思います。 ●そういう機会があれば参加したいと思います。 ●すいません。中々参加できてないので、、、	こうした活動の存在を今回初めて知ったとのこと、また情報が十分に届いていないと感じられている点について、重要なお指摘として受け止めております。実施していても周知が不十分であれば、支援としては十分とは言えません。今後は案内のタイミングや方法を見直し、LINEだけでなく複数の手段で分かりやすくお知らせできるよう工夫してまいります。 また、交流の機会があれば参加したいとお気持ちや、現状なかなか参加できていないという率直なお声も大切に受け止めております。参加のハードルが高くないよう、短時間開催やテーマ別の座談会など、参加しやすい形も検討してまいります。きょうだい向けの機会についても、ご家庭全体を支える視点から、今後の企画の参考とさせていただきます。 保護者同士が安心してつながれる場を無理のない形で整えられるよう、発信と機会づくりの両面から改善を重ねてまいります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	●面談等で直接相談できる環境は整っており、伝えたことへの対応も早いと感じています。正式な相談窓口があるのかは把握していません。	面談等で直接相談できる環境が整っており、伝えたことにきちんと対応されていると感じていただけていることを嬉しく受け止めております。一方で、正式な相談窓口の有無について把握できていないのご意見は、体制の周知が十分でない可能性を示す大切なご指摘です。 日常的な相談は随時受け付けておりますが、「どこに」「どのように」相談すればよいのかが明確でなければ、安心して利用できる体制とは言えません。今後は、相談窓口や対応の流れを分かりやすく整理し、書面や掲示等を通して明示してまいります。また、相談内容に応じた記録や振り返りの仕組みも整え、継続的な対応が見える形になるよう改善してまいります。 日常の対話に加え、制度としての相談体制も明確にし、より安心してご相談いただける環境づくりを進めてまいります。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	●本人を通じて日々の活動状況を教えて貰ってます。 ●送迎の際に熱心に活動を説明していただける支援員さんに感謝しています。	お子さまを通して日々の活動の様子が伝わっていることや、送迎時に丁寧な説明があることに感謝のお言葉をいただき、大変嬉しく受け止めております。活動内容をその日のうちに共有することは、ご家庭との共通理解を深めるうえで大切にしている点です。 お子さま自身の言葉や表現で様子を伝えられていることも、成長の一つであり、とても大切な姿と感じております。今後は、本人の発信を尊重しつつ、支援者からも具体的な意図やねらいを補足しながら共有することで、より立体的に状況が伝わるよう努めてまいります。 引き続き、丁寧で分かりやすい情報伝達を心がけ、ご家庭と同じ方向を向いた支援を積み重ねてまいります。

		21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	<p>●インスタや写真で様子がよく伝わってきます</p> <p>●活動報告は毎回のフィードバックがありとてもいいと思います。</p> <p>ただ、成功事例や保護者会の存在などはどこを確認すればよいかわかりにくく、見落としをしている情報もあります。</p>	<p>Instagramや写真を通して活動の様子がよく伝わっているとお言葉を嬉しく受け止めております。日々のフィードバックがあることを評価していただき、大変励みになります。</p> <p>一方で、成功事例や保護者の方の存在、自己評価の結果などがどこで確認できるのか分かりにくいのご意見は重要なご指摘です。発信している情報が整理されていなければ、必要な情報にたどり着きにくくなってしまいます。今後は、目的別に情報を整理し、成果や取り組み内容が振り返りやすい形でまとめる工夫を進めてまいります。また、どこを見れば何が分かるのかを明確にお伝えできるよう改善してまいります。</p> <p>活動の様子だけでなく、その積み重ねによる成果や改善の取り組みまで分かりやすく伝える発信を心がけてまいります。</p>
		22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。		✖
非常時等の対応		23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	<p>●マニュアルを見たことがないので周知していただきたいです。</p>	<p>マニュアルをご覧になったことがなく、内容の周知を希望されているのご意見は大変重要なご指摘です。安全に関わる事項であるにもかかわらず、具体的な内容が伝わっていないことは改善すべき点だと受け止めております。</p> <p>事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応に関する各マニュアルは整備しておりますが、保護者の皆さまに十分に共有できていなければ安心にはつながりません。今後は、各マニュアルの概要や基本的な対応の流れ、訓練の実施状況について、分かりやすくまとめた資料を作成し、改めて周知してまいります。また、避難訓練や想定訓練の実施状況についても具体的にお伝えできるよう改善いたします。</p> <p>体制を整えることに加え、その内容が見える形で共有されていることを大切に、より安心していただける環境づくりを進めてまいります。</p>
		24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		✖
		25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		✖
		26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	<p>●怪我をしたことがないので、わからない</p> <p>●発作が起きた時のマニュアルを作成していただくと、ありがたいです。</p>	<p>怪我の経験がないため判断が難しいのご意見、また対応の流れを示したマニュアルがあると安心できるとお声を大切に受け止めております。事故が起きていないことは何よりですが、万が一に備えた情報が共有されていることも同じくらい重要だと考えております。</p> <p>事故や怪我が発生した際には、安全確保と応急対応を最優先に行い、その後速やかに保護者へ連絡し、発生状況・対応内容・今後の見通しを具体的にお伝えする体制を整えております。しかし、その流れが明確に示されていないければ、十分な安心にはつながりません。今後は、事故発生時の基本的な対応手順を分かりやすくまとめ、事前に共有できるよう改善してまいります。</p> <p>「起きてから説明する」ではなく、「起きた場合どう動くのかを事前に分かっている」状態を整え、より安心して通所いただける環境づくりを進めてまいります。</p>
満足度		27	子どもは安心感をもって通所していますか。	<p>●喜んで通所しております。生き活きとしています。</p> <p>●苦手な制作などのプログラムも頑張れるよう支援してもらっています</p> <p>●苦手な活動の日は、やや不安そうです。</p> <p>●先生方への安心感はあるが、お友達と上手くいかない時の事を考えると行く前に「ああ、。」となる時もあります(^へ;;</p>	<p>喜んで通所し、生き活きと過ごしているのご様子を嬉しく受け止めております。苦手な制作活動にも前向きに取り組めるよう支援している点をご評価いただき、ありがとうございます。</p> <p>一方で、苦手な活動日にはやや不安な様子が見られることや、支援者との関係は良好であっても活動内容によって気持ちが揺れることがあるのご様子は、とても大切なサインです。安心感「場所」や「人」だけでなく、「活動の見通し」や「自分にもできそうだという感覚」とも深く関わっています。</p> <p>今後は、活動前に内容や手順をより具体的に伝えることや、難易度を段階的に調整すること、成功体験を積み重ねられる構成を意識し、不安が大きくなりすぎないように配慮してまいります。また、苦手意識のある活動こそ、無理に乗り越えさせるのではなく、「安心して挑戦できる」形に整えていきます。</p> <p>楽しさを土台にしながら、不安が安心へと少しずつ変わっていくよう、丁寧な支援を継続してまいります。</p>
		28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	<p>●今日は何をするか毎回聞いてきます</p> <p>●苦手な活動の日になると少し表情が暗いです。</p> <p>●楽しみにしています。</p> <p>●低学年向けの内容が多い現在のプログラムに少し物足りなさ（飽き）を感じている様子が見受けられます。</p> <p>●イベントに寄って気分が違うようですが、概ね色んなイベントを考えてくださるので、飽きる事はないと思います。</p> <p>●日によって変わる為</p>	
		29	事業所の支援に満足していますか。		

自由意見	<p>●毎回楽しんで通っている様子があり、本人の事をよく見てよく理解して頂いて関わって頂いていると感じています。通所する中で成長が見られ、親として非常に嬉しく感じています。</p> <p>たくさん活動を提案・実施して頂きありがとうございます。これからも、よろしくお願いします。</p> <p>●いつも支えてくださり、大変感謝しております。来年度も引き続き、ご指導よろしくお願いいたします。</p> <p>●いつも送られてくる写真や動画から、子供たちのみならず、支援者の方々も一緒にイベントやゲームを楽しんでいる様子がよく伝わってきます。たくさん計画して、たくさん準備して、あとはみんなで楽しもう！！というASTEPT魂を感じます。日誌のLINEにいつからか、担当者の名前を書いてくれるようになったのが、支援者さんのお顔が想像できていいなと個人的には思います</p> <p>●通い始めて3年目ですが、子供達のできるようになったことを褒めてくれたり、困ったことは一緒に考えてくれたりと、子供にも親にも寄り添ってくれるとても信頼できる事業所さんだと思います。</p> <p>●放課後デイでどんな過ごし方をしているのかな？という疑問を感じさせないくらい、インスタ等で活動内容や支援についての情報発信されてる姿勢にすごく令和を感じます</p> <p>それが全てではないとは思いますが、閉鎖的な空間になりがちな場で、保護者からすると安心できる面もあるし、子供達への接し方や考え方等勉強になることも多いです</p> <p>●この時期はインフルエンザだったり、胃腸炎だったり毎年アンケートを提出できなくて申し訳ありません。今年初めて提出しました。いつもありがとうございます。今後も引き続きよろしくお願いします</p> <p>●楽しく通えていることが一番かと思います。家や学校ではできない経験もたくさんさせてもらって感謝しています。</p> <p>●いつも療育日誌を丁寧に書いてくださっているので、後々読み返したり助かってます。</p> <p>●今後とも、よろしくお願いいたします。</p> <p>●一昨年に年賀状を作って家に届くってあったのを毎年あったらなって思ってます。</p> <p>●最近では低学年中心の活動に物足りなさを感じている様子が見受けられます。一方で、低学年の子たちに対してリーダーシップを発揮したり、責任感を持って接したりという報告を支援進さんからもらうことがあり良い変化も現れ成長を感じています。</p> <p>●宜しくお願いします</p> <p>●いつも温かい支援ありがとうございます！ASTEPTは親子共々、ありがたい居場所です。今後とも宜しくお願いいたします。</p> <p>●いつも子ども達が楽しめる活動のアイデアが素晴らしいと感じています。今後ともよろしくお願いします。</p> <p>●いつも温かく見守ってくださりありがとうございます！これからもどうぞよろしくお願いいたします。</p>
------	---

管理者より	<p>毎回楽しんで通っている様子や、通所を通しての成長を感じていただけていることを、大変嬉しく拝見いたしました。お子さまの「できるようになったこと」や挑戦する姿、年下のお子さまへの関わりの変化など、具体的な成長の場面を共有していただけたことは、支援者にとって何よりの励みです。制作やイベント、外出活動などを通して、さまざまな経験が積み重なっていることを実感していただけていることも大変ありがたく感じております。</p> <p>また、困りごとと一緒に考えられる存在でありたいという思いが伝わっていること、居場所として安心していただけていることは、私たちが大切にしている姿勢そのものです。振り返りや報告を通して成長が見えること、日々の準備や工夫に目を向けてくださっていることにも心より感謝いたします。</p> <p>これからも「楽しい」を土台にしながら、一人ひとりの変化や強みを丁寧に見つけ、安心して挑戦できる場を積み重ねてまいります。そして何より、日頃より温かいご理解とご協力をいただいている保護者の皆さまに、心より感謝申し上げます。日々のご連絡やご相談、信頼してお任せいただいているお気持ち、支援の大きな力となっております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>
-------	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ASTEP長岡京

公表日 2026年 2月 13日

(単位：%)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	34	66		ASTEPへ来る時間が重なっている際に、宿題をする時間も重なり学習スペースは狭く感じます。また、玄関も狭く感じます。児童が大きくなってくると療育室も狭く感じていくと思います。 15人定員だと、利用児童の成長もあり、活動内容によっては手狭である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	34	66		曜日によってや、休暇の営業日は、事務業務の時間がとれない。 活動によってはもう少し人員が欲しいと感じることもあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67	33		児童の特性で仕方がないものもありますが、バランスボールやトランポリン、本棚なども療育室に置ける構造だとなお良いと思います。 現時点では必要ないが、玄関にスロープがない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	66	34		隅々までは毎日清掃できていない。活動内容や曜日によって、活動に適した環境にしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0	おしずかりルームや相談室もあるので、クールダウンや体調不良など必要に応じて使用できる場所は確保されていると思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	66	34		ミーティングでの共有や、支援についても個別に伝えているが、統一できていない時もある。その都度声をかけあっている。 一部であると感じます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	66	34	すぐに業務改善が実行できていない時もあるが、意見交換や都度、面談を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100	0	必要に応じて可能な限り取り組んでいる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	外部の研修も内部の研修も機会をいただいています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	66	34		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	支援会議もしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0	一部分はそうであると思います。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	公園遊びは比較的水曜日になることは多いですが、できる限り他の曜日にもできるように考えられていると思います。 人気の活動は少し内容に変化を入れつつ、取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0	緊急性がない時は、翌日のミーティングの時に行うことが多い。翌日が公休の職員には当日中に共有している。 必ずではないと思います。翌日に行うことが多いです。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	活動だけでなくおやつの時間から自己選択・自己決定の力を育てる機会が設定されていると思います。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0		詳しく知らないことが多いと感じています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	100		該当する利用児童がいない、まだそういうケースがほとんどないように思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50	50		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33	67	放課後児童クラブや児童館との交流はありませんが、放課後等デイサービスとの交流の機会はあると思います。 事業所間交流は定期的に行っている。	ほとんどなかったと感じています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	33	67		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	送迎の際に話し合う機会があります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67	33	利用者様からのニーズ、必要に応じて行っている。 一部できていると思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	契約の際などにされていると思います。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	100		知っている範囲では保護者同士で交流する機会はないと思います。 保護者会は未実施。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		送信時の間違いや名前の間違いがあったが早急に訂正対応した。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	100	未実施。体験は行っている。	知っている範囲では招待するなどはないと思います。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50	50	研修と、活動での避難訓練等を実施。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0	契約時や内容更新時にお伝えしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	50	50	最近あまり見れていませんでした。	

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0		

自由意見	<p>●送迎やLINEなども含めて、保護者と情報共有する機会や今後について考えられる機会が設けられていることは良いと感じます。また、療育日誌や写真があることで、保護者が見ていない場所でも子どもたちが頑張っている姿を知ることや見ることができる点も良いと感じます。</p> <p>活動前に見通しを伝えたり、視覚的な提示や具体的な声かけを行うことで、子どもたちが安心して活動に参加できるよう工夫されていると思います。また、成功体験につながるよう、難易度を調整したり、小さな達成も言葉にして認めることを大切に日々の支援ができていますと感じます。</p> <p>今後も、「人のために」「誠実に・正直に」「こだわりを持って」を大切にしていきたいと感じます。</p> <p>●各事業所のカラーを出しつつ、理念に統一したサービスが提供できるように、引き続きよろしく願いいたします。</p>					
------	--	--	--	--	--	--